ボゼしんぶん

悪石島小・中学校
児童生徒会新聞
令和３年度９月号
令和３年９月１７日発行

気持ちを込めて…

今年は、八月二十五日に『対馬丸慰霊祭』が行われた。僕たちは対馬丸慰霊碑で普段より時間をかけ、気持ちをこめて掃除をした。

一九四四年八月二十二日。この日、悲劇が起きた。それは、疎開のために使用された『対馬丸』という船が撃沈された。このとき、戦争が激化しており、沖縄の女性や子ども・お年寄りはその船で疎開することになった。初めは、軍艦で疎開するはずだった。しかし、使われたのは軍艦ではなく貨物船の『対馬丸』だった。

対馬丸慰霊碑はそのとき犠牲になった方々のため、そして二度と同じようなことがないようにという願いを込めて建てられたものだ。対馬丸が撃沈した場所が見えるように建てられている。あおぞら活動や対馬丸慰霊祭ではその時に犠牲になられた方々の魂が安らかに眠れるように僕たちは気持ちを込めて掃除をしている。

今、対馬丸慰霊祭が受け継がれているのは、僕たちの先輩たちが、これまで気持ちを込めて掃除をしていたおかげだ。その意志を受け継ぐために、僕たちができることは「対馬丸慰霊碑をきれいに掃除し続けること」、「対馬丸の悲劇を忘れないように受け継いでいくこと」だと思う。僕たちも後輩に引継ぎ、未来につなげていきたい。

小学六年　H・Y

ご焼香

気持ちを込めて

すずの赤ちゃん

八月三十一日、急にすず（ぼくが飼っているヤギの名前）が鳴きだした。

僕は夏休み最後の日、家でゲームをして遊んでいた。すると、急にすずが「メーメー」と鳴きだしたのだ。

「赤ちゃんでも産むんじゃない？」とその時は、本当に赤ちゃんを産むなんて思ってもいなかったため、冗談のつもりで言っていた。

しかし、僕はいつもと鳴き声（鳴き方）が違うことに、違和感を覚えた。そして、みんなに「一応見てみよう」と窓から庭をのぞいた。すると、すずが回転しながら鳴いていた。それに、お尻から少し血が出ていた。すぐにタオルをもってすずのところに駆けつけた。

その後、すずは小屋に入り、無事に赤ちゃんを二匹生んだのだ。どちらともキンタ（お父さんヤギ）に近い黒色だった。赤ちゃんの性別が分かってから、名前を付けた。オスはチコ、メスはリコにした。今のところ元気なので、これからも元気でいてほしい。

小学六年　H・D

避難訓練

「火事だー火事だー。」

という声が学校の中庭に響く。

今日は、火災が起こったという想定で避難訓練が行われた。今回の避難訓練のために、「悪石消防団」の方々に来ていただいた。今回は避難するときの約束事「押さない・かけない・しゃべらない・戻らない・近寄らない」の「おかしも」をみんなしっかり守って避難していた。

今回は、実際に火事が起こったときの対応や消火器の使い方を教わった。そして、消火で使われるホースでの放水を体験した。

消火器を使っている様子

放水を行っている生徒

小学六年　H・D

夏休みの思い出と二学期の目標

とうとう夏休みが終わり、運動会、学習発表会、収穫祭など行事が多く、忙しくも楽しい二学期が始まった。そんな二学期に向けての目標や夏休みの思い出についてのインタビューを紹介する。

Rさん　→受験のために塾に通っていた。二学期は受験があるためしっかり勉強していきたい。

Eさん　→松山に行って、懐かしの友達と遊んだ。二学期は学校行事がたくさんあるが、どれも成功させたい。

Dさん　→悪石島の海でたくさん遊んだ。二学期は学校行事がたくさんあるのでみんなで協力して頑張りたい。

Yさん　→海で遊んで楽しかった。二学期も低学年を引っ張っていきたい。

Mさん　→につみで泳いで楽しかった。二学期も健康に過ごしたい。

Sさん　→鹿児島でのお祭りが楽しかった。二学期はもっと本を多く読みたい。

Kさん　→川で泳いで楽しかった。二学期は特に、運動会をがんばりたい。

Jさん　→ボゼ祭りがとても楽しかった。二学期は漢字をいっぱい覚えたい。

僕は宮崎のモアイ像を見に行き、とても迫力があった。二学期は運動会で紅組団長として精一杯頑張りたい。

応援団の練習風景

避難訓練の様子

中学二年　A・S